

報告日 令和6年10月3日
報告回数 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東大和市役所		代表者名	和地 仁美	
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	政策経営部広報プロモーション課	連絡先電話番号	042-563-2111
担当者役職	プロモーション係長	担当者氏名	横山太一	連絡先E-mail	
住所	2078585 東京都東大和市3-930				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	情報発信ありかたの見直し		
概要	広報ありかたの見直し及びそれに伴うシビックプライドの醸成に関するICTの活用について、助言をいただきたい。				
支援を求める分野	ICT活用広報 その他				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり 有	受付番号 188	変更後の派遣日 令和6年10月2日	変更後に実施した支援内容 支援・助言	実地/オンライン オンライン
	派遣日予定日(申請書より) 令和6年9月20日	支援内容(申請書より) 支援・助言	開始時刻 9時00分	10時30分	
				活動時間(分)	90

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	具体性のない質問に対しても、わかりやすく、かつ的確にご助言いただけ、また、期待以上の情報をご提供いただけため。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	2人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数 2	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">市広報紙のリニューアルについて 情報発信ツールになってしまっている。 リニューアルによる情報量減インナープロモーションについて インナープロモーションに取り組みたいが、市民や市内事業者を巻き込む方法がわからない。 Instagramを開始予定だが、どのようなものにするか悩んでいる。 mGAP活用をしたいと考えているが、ICT活用等必要な体制整備を知りたい。また、当市アクションプランとの親和性が気になる。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">「市報東やまと」のリニューアル及びSNSの活用方法の見直し等によって、老若男女問わず、市民の方が容易に情報収集できるような情報発信を実施する。また、このことによるシビックプライドの醸成を目指す。シティプロモーションにおける市民や市内事業者を巻き込んでの市の魅力発信に関する考え方や手法の習得

<p>アドバイザーに支援を受けた内容</p> <p>(具体的にご記入下さい)</p>	<p>以下のとおり、ご助言いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報のリニューアルについて 情報発信は、市広報ではなく、LINEを活用する。そのために市広報ではどの程度市民に情報が届いているかを把握し、LINEでの情報発信の優位性をPRする特集記事を載せる。 載せる際には、リニューアル過程での市民からの声を載せることで、大きな反対へのリスクヘッジとなる。また、LINEが使えない方への講座等の実施も効果的である。 インナープロモーションについて まずは、伝える言葉を作る。東大和市を好きな人を集めて、魅力を語る場を設定し、魅力の掘り起こしを行う。そこから、東大和市では「どんな暮らしができるか」「東大和市で幸せになれそうな人はどんな人か」というストーリーを作る。また、それを参加した方々に発信してもらう。そういう場を増やしていくことで、自然とインナープロモーションができる。 Instagramに関しては、市職員が発信するのも悪くないが、共通ハッシュタグをつくり、それを東大和市を好きな人が発信するときにつけてもらうという方が拡散力が増す。この共通ハッシュタグをつけることでのメリットを付与できると、なおよい。 mGAPの活用については、特段必要な体制はなく、イベントごとに推奨意欲の確認や年1回の市民アンケートを実施すればよい。可能であれば、月1回のモニターアンケートを実施するとその時のトレンドがつかめて面白い。
--	---

<p>支援を受け改善又は解決された内容</p> <p>(具体的にご記入下さい)</p>	<p>暗中模索であった部分が多かったが、具体的にご助言いただけたため、部署内で共有し、市広報のリニューアル及びインナープロモーションについて、検討することができそうである。 東大和市を好きな人を集めて、魅力を語る場を設定する取組については、そういった方とより多く関わっていく必要があるため、引き続き、市民の方とのコミュニケーションを取り、実施に向けて準備していきたい。</p>
---	--

<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p>⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 現時点ではない。</p>
----------------	------------------------------	---

<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容</p> <p>(具体的にご記入ください)</p>	<p>特にないが、今後検討していく中で、不明な点や課題が生じた点などを次回アドバイスいただくこととした。</p>
---	--

<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p>
----------------------	--

<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるもののリストより選択下さい</p>	<p>②次年度に予算化を図り推進する 市広報紙リニューアルに関しては、令和7年度予算にて、予算計上予定。 インナープロモーションに関しては、現時点では未定。</p>
-------------------	-----------------------------	--

<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>次のことにより、これまで市民に届けきれなかった市の魅力を届けられるようになり、シビックプライド醸成またそれに伴い市民の地域への参加意欲や感謝意欲が向上されることにより、市民全体としての居住満足度及び生活における幸福度が向上することを目指す。 ・「市報東やまと」のリニューアル及びSNSの活用方法の見直し等によって、老若男女問わず、市民の方が容易に情報収集できるような情報発信を実施する。 ・シティプロモーションにおける市民や市内事業者を巻き込んでの市の魅力発信に関する考え方や手法の習得</p>
-------------------------	--

<p>5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可</p>		<p>https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</p>
<p>掲載許可</p>	<p><input type="checkbox"/>掲載可</p>	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

<p>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子</p> <p>今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。</p>

